



第五號



官
許
琵琶湖新聞

定價三錢五厘

明治六年第四月

西垣文庫
文庫10
7374
5



特 文庫10
7374
5

緒言

新聞ノ徳タルヤ大ナリ内知見ヲ闢キ外事業ヲ施シ
不知不識文明ノ域ニ進ミ開化ノ室ニ入り上下言路
ヲ通ジ勸懲善惡ヲ判ス故ニ
官許シテ天下ニ公ニスル所以ナリ庶幾ハ四方ノ君
子上公裁ヨリ下俚言ニ至ルマデ縷々記載シ吾社ニ
投入シ玉ハンコヲ是今日ノ必務ニシテ開明ノ徳ニ
報ズル所以ナリト爾云

西垣文庫



明治新聞第五號

明治六年二月當縣令松田道之殿管下小學巡校ノ節
臨時試驗有之夫々褒賞給ハリ候生徒人員并ニ御賞
ノ品左之通

第一校

阪田郡長濱町

一日新書籍

壹人

一筆墨紙

六人

一筆 墨

三十八人

第十九校

犬上郡彦根上藪下町

一日新書籍

三人

一筆墨紙

六人

明治六年二月

一筆 墨 六人

第七校 犬上郡彦根瓦焼町

一筆 墨紙 三人 一筆 墨 四十一人

第十七校 犬上郡彦根下魚屋町

一日新書籍 三人 一筆 墨 十八人

第十八校 犬上郡上片原町

一日新書籍 三人 一筆 墨 十五人

第二校 犬上郡高宮村

一日新書籍 十三人 一筆 墨紙 六人

一筆 墨 八十四人

合而

日新書籍 二十三人 筆墨紙 二十壹人

筆 墨 二百二人

惣人員二百四十六人

縣令巡校ノ節小學校ニテ試験アリ入等ノ者ニハ書
籍筆墨紙等ノ賞賜アリ嗚呼此ノ兒童等令公ヨリ手
ヅカラ賞賜セラルタニモノ豈榮華ニアラズヤ方今學術進歩
ノ際斯ク文筆ニ勉勵ス真ノ佳兒ヨイコトモタリ況ヤ成人ノ輩
餘暇ヒラキ學バズンバ有ル可カラズ令公コレヲ賞セラル
モ他ノ強勵ヲ勸ムル所為ナリ然ルニ鄉村未ダ小學

開校ヲモ遂ザル者アリ豈耻ベキニアラズヤ

○鬼賣買ノ儀ニ付先般各區戸長へ取締相達候処今以テ密々會集不正路ノ賣買不相止哉ノ趣右ハ人民ノ患害少ナカラズ等閑ニ難差置次第ニ候条爾後尋常獨立ノ賣買ハ苦シカラズ候得共會集賣買ハ決テ不相成候条方一違犯ノ者有之候ハミ渡世差留申スベキ事

但小萬年青蓄鼠等右ニ類スル不正路ノ賣買是亦同様相心得ベシ鼠ノ儀ハ先年一時流行ノ節小兒等嚙付レ命ニ抱リ候者モ有之候ニ付別テ宜シカ

ラザル事

明治六年三月十二日 東京府知事大久保一翁

○當縣管下蒲生郡長谷ト称スル荒野アリ余或ル日此野ヲ過リ土壤ヲ檢スルニ尋常ナラズ數層ノ土壤ヲ翻シ再ビ之ヲ檢スルニ部分ニ由テ石灰床ヲ存在ス歐洲ニ所謂「カルキ床」ト称スル者アリ夫レ加爾幾床ナル者八十ノ三四ハ空氣ノ炭酸化ヲ得テ石質軟弱ナリ之ヲ化燻ノ為ニ木財ヲ測ルニ尋常ノ半ヲ過ギズ是レ天ノ賜ト謂フベシ余此ノ僥倖ヲ得テ措クニ不堪庶幾ハ有志ノ人實地檢査ノ上盡カアラン

ヲ欲スルノミ 右投書ニ依テ記ス

○新聞雜誌第七十一號抜萃峽中新聞ニ加除取捨アルヲ出ス

太陽曆月令大略

一月五日此頃ヨリ已下臘梅香ヲ放チ茶ノ花開キ雉子始テ啼同○同日海石榴花開キ氷厚シ○二月四日蘭香シ櫻桃始テ開キハツナク蟄虫始テ振フ○同十八日春風氷ヲ解キ柳煙ノ如シ鶯啼ク○三月五日草木萌ラ發ス梅滿開○同十六日雲雀天ニ上ル菜花黄ナリ○同廿日玄鳥来リ雁帰ル桃櫻開ク雷声ヲ發ス雀始テ

巢フ○四月五日八重櫻花盛リ虹始テ見ユヤマシ棟棠ヒラク○同廿日萍始テ生ズ桐花サク○同廿八日春蠶生ズ種豆始マル○五月二日柳絮飛ブ杜鵑花紅○五日蚯蚓出ヅ燕子花牡丹芍藥罌粟開ク鮎鱈魚市ニ上ル○同十一日苗代始ル○同廿日茶ヲ摘ム杜宇啼ク麥ノ秋藤花菖蒲開ク水晶花雪ノ如シ鹿角解○六月六日合歡サクロ花開ク○同九日梅雨下ル○同十二日田植始ル○同廿二日蟬始テ啼ク百合アヲヒ葵開ク○同三十日夏蚕生ズ○七月七日蓮花開キ新竹長ズ○同廿三日腐草螢ヲ生ジクモ秋雞啼ク○八月七日涼風至ル玉簪開

ク○同廿三日木槿榮ク蓼花紅ナリ蟋蟀蟻ヲ促ス百
 蟲鳴ク○九月一日木綿發ル○同八日雁来リ燕帰ル
 槐開キ桂花香シ○同廿三日雷声ヲ收ム蘋開キ蟄虫
 戸ヲ閉ヅ蕎麥ノ花雪ノ如シ○同廿九日早稻實ル○
 十月八日香魚サビル樹々色ヅク○同廿日麥蒔始ル
 ○同廿三日菊開キ木ノ實熟ス露結テ霜ト為ル○十
 一月四日晚稻實ル○同七日木葉落チ水始テ氷ル○
 同廿三日虹藏レテ見エズ蘆荻皆枯ル霰雪下ル○十
 二月七日枇杷ノ花綻ブ松栢秀ヅ○同廿二日麋角解
 ツ蜂蝶蟄ス

○東京新聞ニ云ク三月三日白露國ノ使節参内
 天皇陛下へ謁見條約取結ビノ式禮ヲ得タリ之ヲ左
 ニ舉グ

白露國全權公使「カルシヤ」午後第二時参朝ス外務丞
 コレヲ車寄ニ迎へ引テ櫻ノ間ニ至リ外務卿式部頭
 之ニ接ス外務卿公使ヲ大廣間ニ誘引拜謁セシム公
 使言上左ノ通

大日本万世不易ノ 皇統ヲ繼ギ給ヒ國內大政大
 革ヲ行セラレ光威ヲ萬國ニ輝カシ國民其恩德ヲ
 称セザルハナク明德英才ノ大日本帝王へ余今日

我白露國公使ノ任ヲ奉シ拜謁スル予ガ大幸大榮
ナリ陛下政府ノ禮待厚遇殊ニ深ク我國ノ大慶何
物カ之レニ過ギン予其洪恩ヲ感じ今陳述スルノ
謝詞ハ初メテ我職ヲ奉ズルノ端ニシテ一大快慶
ノ至リナリ我白露國大統領陛下予ヲシテ
天皇陛下ニ言上セシム兩國ノ交際初メテ開クル
ノ際我大統領滿悦ノ心意ヲ述ベ且ツ國ハ大洋ア
リテ懸隔スト雖モ航スルニ難カラズ自今弥親睦
ニシテ永久ナランヲ祈念ス兩國ノ名産大ニ興
リ正實ヲ基礎トシ貿易ヲ盛ニシ兩國ノ繁榮大

利トナランヲ期望スト今予ヲシテ闕下在留ノ
全權公使ニ命ゼル我白露國大統領「バルドウ」陛下
ノ委任状ヲ陛下ニ呈シ併セテ
天皇陛下ノ聖壽長久ニシテ今日進歩ノ事業大成
ニ至ランヲ祈念ス日本白露兩國間ノ交際百事
正理ヲ基トシ公平ヲ礎トシ盡力勉勵センヲ予
茲ニ誓フ
而シテ公使國書ヲ捧グ 上之ヲ受ケ玉ヒ侍從長へ
授ケ玉フ勅語アリ

御白露國大統領閣下ノ特命全權公使トシテ其親

書ヲ奉ジ、来リテ兩國親昵ノ交際ヲ結バント欲ス
ル意ヲ陳ベラル。朕大ニ之ヲ欣ブ。且ツ卿ガ才幹能
ク其任ニ堪ヘ大統領ノ素志ヲシテ暢達セシメン
ト復疑ヒヨ容レザルナリ。茲ニ大統領ノ榮福ヲ賀
シ併セテ兩國親交永久ナランコトヲ祈ル
畢テ外務卿公使ヲ引テ櫻ノ間ニ退茶菓ヲ賜フ。太政
大臣參議等出會畢テ退出ス。外務丞又之ヲ車寄マデ
送ルト云々

○第三月三日「カセツ」新聞中ニ英國「ロンドン」府ニ
居留セル日本人某ナル者英人「ソムメル」スト云フ學

者ト謀リテ日本文ノ新聞誌ヲ發兌セントス。蓋シ其
號ヲ泰西新聞ト云フ。其說ニ曰ク。方今日本日新開化
ノ時ニ當リテ泰西ノ新聞誌ヲ開キ以テ其事々物々
ヲシテ日本國民ニ示サバ其利實ニ廣大ナルベシト
故ニ此新聞近日出版スルヲ得テ日本國學生ノ裨益
トナルニ至ラン。素ヨリ發兌人ノ主意ハ歐洲各國ノ
政態其人民ノ禮儀宗旨ヲ始メトシテ其外工業技術
新發明ニ至ルマデ精シク記載セントナリ
駸々タル開化日ヲ追ヒ月ヲ逐ヒ數百年間宇内萬
國ノ境外ニ在テ稍草昧ニ属セシ日本國モ終ニ方

今ノ如ク文明トナルニ至リ三千里外ノ英國首府
ニ於テ日本文ノ新聞ヲ發兌シ以テ我が國民ノ知
識ヲ開カント欲ス實ニ愉快ノ景況ナラズヤ
○當國蒲生郡第十三區某村禪宗某寺兼テ蓄髮セシ
ガ野郎トナリ近日同區内豊浦村農某へ入家セシ由
旧習浮屠ノ者モ開化セシカ亦珍事ト云ベシ
右同區内何某ヨリ報知ニ因テ記ス又粟太郡吉田村
淨土宗某寺妻止セリ近日村内ヨリ周旋ニヨツテ娶
リシ由ナリ是レ時勢ノ然ラシムル所ナリ方今便宜
ノ服制行ハレシニ世態全ク變ゼズト雖モ僧侶モ長

キ袖ヲ止メ法容ヲ廢シ以テ開化ノ域ニ進ミ玉ヘ
○近日濱田縣ヨリ報告ニ同縣石見國ハ山陰中狹隘
邊僻ノ地ニシテ從テ人民固陋文明ノ政化貫徹セザ
リシニ旧冬人民會議ヲ興シ官員出席シテ座次ノ順
序ヲ問ハズ人民ト混居シ議事ノ餘話ニ文明ノ政體
ヲ説諭セシニ萬民始メテ仁政ノ辱ケナキヲ感ジ且
ツ官員鄭重誇大ノ風ナキニ服シ是レヨリ俄然方向
ヲアラタメ靡然トシテ開化ニ向ヒ濱田市中近在迄
散髮シ急ニ道路橋梁ヲ修繕シ利用厚生ノ道ニ進入
セリ之レニ依テ從前ノ里正年寄等旧習ニ因循シ治

功舉ラザル者ヲ悉ク廢シ更ニ其任ニ當ル者ヲ貫屬
 又ハ平民ヨリ擇ビシニ各々奮勵廳旨ヲ奉ズルユエ
 未ダ數月ヲ經ザルニ斯クハヤクハヤクシテ開化ニ風靡ス
 ト又同縣ニテハ囚獄ニ一良法ヲ設ク徒流人ニ日曜
 日ヲ以テ休暇ヲ與ヘ午前七時ヨリ十一時マデ常ノ
 如ク使役シ其賃錢ヲ以テ學資ニ充ツ十二時ヨリ五
 時マデ讀書習字算法等ヲ學バシメ尚譯書新聞紙ヲ
 講説シテ聽聞スルコトヲ創メタリト云々何方モ个様
 ニ有リ度キモノナリ

琵琶湖新聞第五號終

伏テ四方ノ君子ニ敬白ス既ニ官許ヲ蒙リ局ヲ開キ新聞ヲ刊行シ遐
 邇トクマテモ擲メ遠近日新ノ景況ヲ告ゲ俱ニ開化文明ノ域ニ進マ
 ンヲ希望ス雖然耳目ノ届ガザル多シ願クハ小大トナク事實書綴リ本
 局又ハ所々出局取次所等へ出シ玉へ次第ニ出版致スベシ但遠路ハ殊
 ニ報知ヲ希フ其書付ニハ何レモ其住所姓名ヲ載セ玉へ無名ノ書ハ敢
 テ採入セズ無根ノ浮言造説アルヲ恐ル

總テ望ニヨツテ出版スル事件大略

- 諸會社ニテ取扱ノ品々出入數量○物價ノ高低○新規發明ノ器械
- 諸開店ノ披露○田園山林家邸舟車等ノ賣買貸借○失物尋物
- 觀セ物集會等ノ披露○諸藝私塾開業ノ披露○諸產物家具食品藥劑
 等一切ノ賣買○金銀貸借
- 右ノ外總テ世間ニ弘メ人ニ知ラシメントノ事情ハ何レモ一行廿二字
 價三錢ニテ引受出版致スベシ

本局

近江國大津船頭町

琵琶湖新聞會社

大津濱通

原田

五郎助

大津京町

古川

伊助

彦根桶屋町

高田

平三

長濱

田邊

耕平

鳥井本

平十郎

八幡町

木村

源造取

八日市

福原邸左衛門

愛知川

清次郎

日笠町

上林嘉右衛門次

守山

田中平右衛門

草津

田中平右衛門

水口驛

伏木八郎兵衛所

本堅田

北村清十郎

大溝

三矢治兵衛

石部驛

小嶋金左衛門

海津

金谷平三郎

賣弘所

